

当院で膵癌の診断を受けた患者さんへ 研究協力のお願いについて

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2010年1月1日から2025年12月31日までの間に当院で画像検査がなされ膵癌と診断された患者さん

2. 研究の概要

研究課題名 造影CTにおける人工知能を用いた膵癌病変自動検出能の検討

研究期間 承認日～2026年9月30日

目標数 全体500例

膵癌は上腹部に存在する膵臓に発生する悪性腫瘍です。腹痛、背部痛などの症状や糖尿病あるいは腫瘍マーカー上昇などがきっかけになって発見される事がありますが、他の何らかの理由で撮影されたCTやMRIなどで偶然に発見される場合もあります。造影CTは膵癌の発見やどの程度の進行した状態であるのかを評価するために最も広く利用されている検査です。近年、人工知能(AI)技術の発展に伴って、AIによって膵癌病変を自動検出できないかが着目されています。もしAIによって膵癌病変が自動検出されるようになれば、今後さらなる病変の早期発見や正確な診断が期待されます。今回の研究では人工知能技術を用いて、膵癌病変がどの程度正確に発見できるかを、過去の患者さんの症例にさかのぼって検討します。

3. 研究の目的・方法について

AI技術による膵癌検出能を過去の症例にさかのぼって検討します。そして患者さんの背景情報(症状、腫瘍マーカーなど)や画像検査情報、病変情報(病変のサイズ、位置、切除可能性、周囲の浸潤の程度)との関係性を明らかにして、どのような症例がAIによって発見されやすいのか、あるいは発見されにくいのかを検証します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2010年1月1日から2025年12月31日までの間に当院で膵癌と診断された患者さんのCT画像データを用います。画像検査情報(撮影機種、撮影phase、スライス厚)、病変情報(病変位置、病変サイズ、respectability、S因子、RP因子、MPD拡張、閉塞性膵炎)、背景情報(膵サイズ、膵脂肪浸潤の程度、膵臓抽出の精度)などの情報を使用します。

5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された試料・情報は、外部へ提供することはありません。

6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

7. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、福井県立病院の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

8. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

9. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究機関の問合せ窓口

[当院（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

住所： 福井県福井市四ツ井 2 丁目 8-1

医療機関名：福井県立病院 放射線科 担当医師：吉田耕太郎

相談窓口：福井県立病院 倫理委員会事務局

電話：0776-54-5151（内線 2043, 2047） FAX：0776-57-2945